

## 県中学校新人大会・女子ソフトテニス

# 松葉・深渡ペア、うれしい準優勝

岩手県前期中学校新人大会が10月15、16日行われ、普代中（木村利光校長、生徒105人）2年の松葉沙織・深渡麻衣ペアが女子ソフトテニスの個人戦でうれしい準優勝を果たしました。

同競技は、一関市の総合運動公園テニスコートで行われ



準優勝カップを手に喜ぶ松葉さん（左）と賞状を手に笑顔の深渡さん（右）

68ペアが参加。久慈地区の第1代表で参加した松葉・深渡ペアは1回戦、2回戦を順当に勝ち上がり3回戦へ。3回戦は北上中に4-3、準々決勝で花輪中に4-0、準決勝も気仙中に4-0と圧勝。5試合を勝ち上がり念願の決勝へ駒を進めました。決勝戦は

強豪の見前中の伊藤・女鹿ペアと対戦。健闘むなしく0-4で惨敗しました。

試合後2人は、「決勝では相手に圧倒されてしまいました。これから練習のときでも緊張感を持ち、チャレンジヤー精神で頑張ります」とさらに上の目標に向かって目を輝かせていました。（敬称略）

## ソフトボールはベスト8

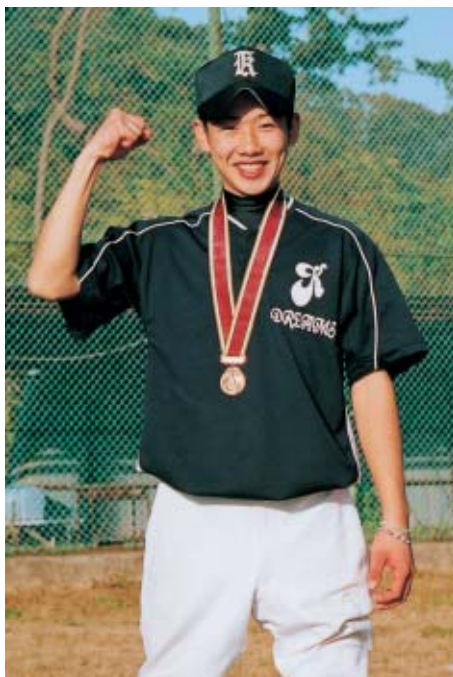
東山町で行われたソフトボール（藤島晶主将、部員10人）は、雨の降る最悪のコンディションでの試合となりました。1回戦、普代中は山田中と対戦。両チームともフォアボールを続出。結果11-10と逆転に次ぐ逆転で普代中が勝利しました。準々決勝は花泉中と対戦。4回裏まで7-5と普代中がリードしていましたが、その後守備の乱れを突かれ8-12で敗れ、ベスト8となりました。

ソフトテニス女子の団体戦は1回戦敗退でした。

## 全国K-Ball野球大会

# 久慈地区選抜、全国3位に

## 太田開成君（普中3年）フル出場



全国大会出場の経験を生かし「これからも野球を続けます」と元気に話す開成君

第5回AAA全国中学校K-Ball野球選手権大会が8月7日から11日まで静岡県で行われ、久慈地区の選抜チーム「久慈DREMS」に普代中3年の太田開成君がメンバー

に選ばれ大会に参加。見事全国3位の成績を収めました。開成君は「久慈DREMS」でライトとショートで予選、決勝リーグにフル出場。全国大会では、惜しくも準決勝で敗れましたが、チーム一丸となつてプレーしました。

「久慈DREMS」は開成君をはじめ、久慈地区の中学校から選抜された18人で構成。同チームは7月の県大会で準優勝、東北大会で優勝し、全国大会に出場しました。

開成君は「全国の壁は厚かったです。試合ではいい結果が出せませんでしたが、同じ野球が好きで仲間と、いろんな話ができ、一緒にプレーすることができて良かったです。これからも好きな野球を続けます」と元気に語ってくれました。